

別巻橋しんぶん

【松浜橋について】

- 場所は？……………新潟市北区松浜
・東区下山です。
- 長さは？……………921.3mです。
- 幅は？……………6.6mです。
- 誕生年度は？……………昭和39年です。
- 構造形式名称は？……………トラス橋といえます。



「松浜橋」ちょっと豆知識

昭和初期まで、阿賀野川沿い両岸の往来には、渡し舟が使われていました。川に橋がかかるまで、渡し舟は人々にとって重要な交通手段でした。しかし、舟は天候に左右され、川幅の広い阿賀野川を渡ることは危険で、波や風の影響を受けやすい河口近くの松浜の渡し場では、二度も大きな事故が起きました。

一度目の事故後、橋をかけることが決まりましたが、経費の都合で工事は中断、二度目の事故で工事は急がれ、昭和18年に木製の橋が完成し「松浜橋」と名付けられました。

その後、洪水や新潟地震で橋が流されることもありましたが、昭和39年に現在の橋がかけられました。

※出展 ガイドブック「北区のお宝ものがたり」を参考に記載

【松浜橋の構造形式について】

松浜橋はトラス橋という構造形式が採用されています。

トラス橋は、部材が「三角形」になるよう接合した骨組みでつくる橋です。

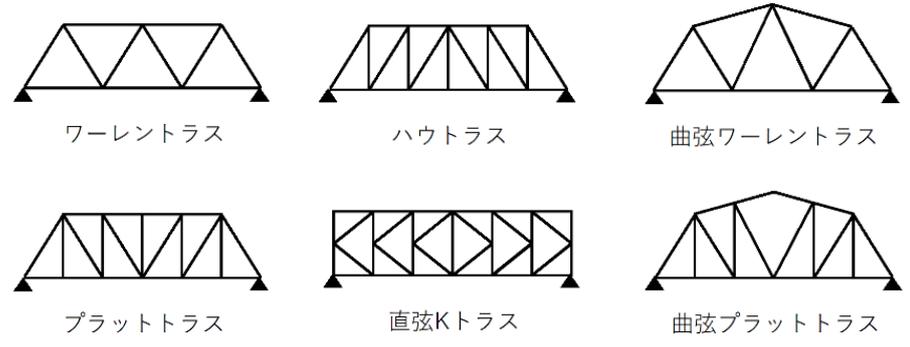
トラス構造には色々な種類があり、松浜橋は曲弦ワーレントラス橋です。

ワーレントラス橋は、長い距離の橋に適しており、部材数が少なくできるため、シンプルな構造が必要な場合に適用されま
す。鉄道橋などで非常に多く適用されています。

【用語の解説】

○ワーレントラス…斜材の向きが交互になっているトラスで、逆Wの配置になるのが特徴。ワーレントラスの上弦材が水平ではない場合、曲弦ワーレントラスと呼ぶ。

トラス橋の種類



【トラス橋のメリットについて】

細かい部材で構成できることです。

【トラス橋のデメリットについて】

施工が難しいことです。